

MUTOH

取扱説明書

INSTALLATION AND
OPERATION MANUAL

MUTOH DIGITAL COUNTER DIGICOLLAR SLR series

このたびは、デジカラーをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本製品は工作機器などの送り量を演算結果の値としてデジタル表示するものです。

本製品を安全にお使いいただくために、この説明書をよくお読みの上、正しくセットしてお取扱ください。

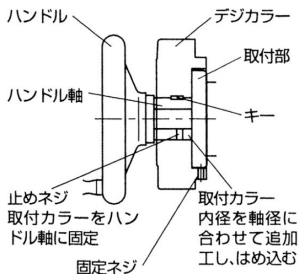
2 主な仕様

表示桁数	5桁/赤色7セグメントLED/文字高10mm
カウント範囲	測長±99999/角度±360.00°
カウントモード	【測長】10/2進 【角度】1/5/10分、0.01/0.1/1°読み
リセット/プリセット	表示部横の「リセット」スイッチを押すとFUN08の設定値に現在値を修正 「D」キーを2秒間押し、任意の現在値に修正
小数点位置	FUN02に設定
リード値	FUN03に設定
最大リード値	【0.1】SLR-150:60mm、SLR-600:240mm 【0.01】SLR-150:6mm、SLR-600:24mm
メモリ	不揮発生メモリ 10年間バックアップ
キースイッチ	「D」:桁移動、「リセット」:書込み、「▲」:UP、の3キー
最大許容回転数	700rpm
電源	AC100V±10%(50/60Hz)
電源コード	2Mアダプタプラグ付
消費電力	3.3W
使用温度範囲	0～45℃
使用湿度範囲	RH35%～90%(結露無きこと)
保存温度範囲	-20～80℃
質量	約780g
耐振動	49m/s ² で30分
耐衝撃	耐久294m/s ² X・Y・Z各方向3回
保護構造	IP-50
付属品	取付カラー:1個、取付カラー用止ビス:1個、 L棒レンチ:2個、平行キー:1個、 本体固定用止ビス:3個(本体組込済み)

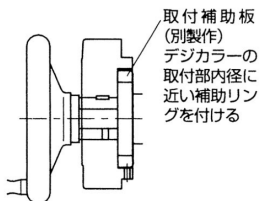
3 取り付け例

デジカラーには、セットする機械・装置の送りネジ径および構造によって、次のような取付方法があります。ご使用になる機械・装置に合わせて取付部品をご用意ください。

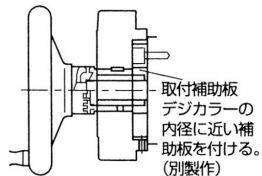
【例 1】 取付部の外径がデジカラー本体内径に近い場合



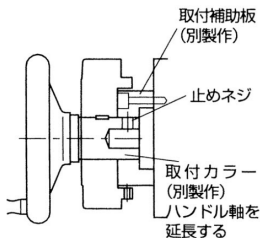
【例 2】 取付部の外径が極端に小さい場合



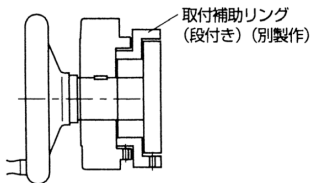
【例 3】 取付部がデジカラーの取付部より大きい場合、平面形状のボディにハンドル軸がある場合



【例 4】 軸が極端に短い場合



【例 5】 取付部がデジカラーの取付部より大きく取付補助板が取り付けられない場合



参考

◆軸がデジカラーの穴径より太い場合は、取りつかないこともあります。

4 取り付け手順

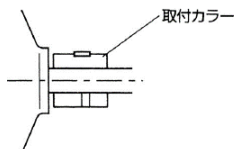
取り付けが不完全な場合、デジカラーの回転軸にカジリが生じハンドルが回転不可能になることがあります。下記の手順に従って取り付けてください。

1. 取り付ける前に次の点をチェックしてください。

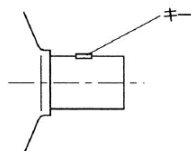
A) ハンドル軸またはクラッチの外径を測定し、軸外径がデジカラー回転軸内径($\phi 23$)に対して、

① $\phi 18\sim 22$ の場合は、内径寸法の大きなデジカラーを選定してください。

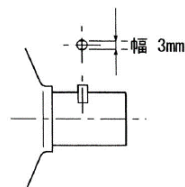
② $\phi 17$ 以下の場合は、取付カラーを取り付けてください。



③ $\phi 22\sim 23$ の場合は、軸外径部に回転伝達用キー溝を追加してください。



④ キー溝加工が困難な場合は、ピンを立て 3mm 幅に加工してください。ピン径は 10mm 程度とします。



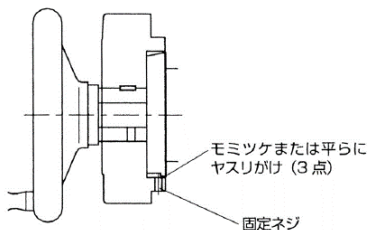
B) デジカラーを取り付ける部分の外径を測定します(0.1mm まで)、
取付部の外径がデジカラーの取付部内径(φ70)に対して、

- ① 1~10mm 小さい場合は、そのまま取り付けられます。(取付例 1)
- ② 10mm 以上小さい場合は、取付補助リングを取り付けるか取付補助板を取り付けてください。(取付例 2、3)
- ③ デジカラーの取付部より大きい場合、および取付部がテーパ状のまたは変形の場合は、取付補助リング(段付き)か取付補助板を取り付けてください。(取付例 3、5)

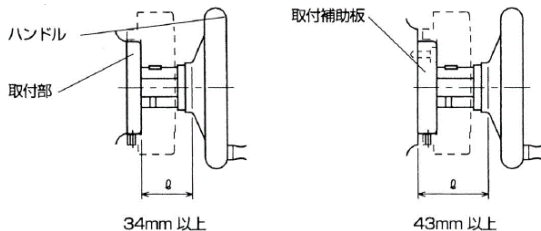
取付補助板は軸に対してできるだけ同心に取り付けてください。
取付例は前項を参考にしてください。

取付部内径は H8 のインロー加工となっています。

取付部がゆるいテーパの場合は、デジカラー固定用止めネジに当たる部分にモミツケまたは平らにヤスリがけしてください。

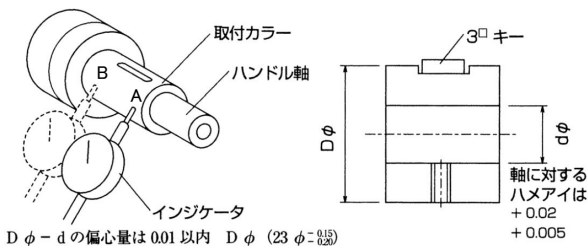


- C) 取付部とハンドル間の距離を測定し、デジカラーが取付可能かどうかチェックしてください。



測定部がデジカラーの厚みより短い場合、取付例 4 のように告ぎ軸を作成してください。

2. ハンドル軸外径に合わせて付属のカラー内径を追加加工します。
相手軸外径とハメアイは $+0.02$ / $+0.025$ (現合) が望ましく、取付カラー外径と内径との偏心は 0.01 以内としてください。
3. ハンドル軸に取付カラーを取り付けてインジケータで取付カラー外径部の振れ量を測定します。測定は図のように A、B の 2 点でおこなってください。振れ量が 0.1 以上となる場合は、取付カラー外径をヤスリなどで削り、その振れ量分を補正してください。



4. 取付カラーに3[□]キーを入れデジカラー本体を差し込みます。
3[□]キーとデジカラー回転軸のキー溝とのハマアイがきつくキーの滑りがスムーズでない場合は、紙ヤスリなどでキーを研削しスムーズに滑るようにしてください。キー部分にグリスを付けるとよりスムーズになります。
5. ハンドルを組み込みます。
6. デジカラーを手で支えてハンドルを回してみてください。このときのハンドルの重さがデジカラー取付後のハンドルの重さになりますので覚えておいてください。
7. ハンドルを回しながらデジカラー固定用の止めネジを徐々に締め付けます。芯が出ていない場合は部分的にハンドル回転が重くなりますのでスムーズに回転できるように調整してください。デジカラーが前後に傾いても同様な現象が起きますので、取付部にデジカラー背面を押し当てて傾きを修正してください。ハンドルの回転ムラがとれない場合は、キーの滑り具合、他の部品をチェックし、取付カラー外径を 0.2~0.4mm 程小さくして再調整してください。取付カラー外径を小さくし過ぎると、かえって調整困難となることがありますので注意してください。

注意

- ◆取付カラー外径部の振れが大きく、カラー外径を小さくして取り付けた場合、振れによってキーの背がデジカラー回転軸の溝上面に当たることがあるので、キーが取付カラーのキー溝底まで入っているかどうかを確認してください。

8. 上記調整後は止めネジが緩まないようにしっかりと締め付けを固定してください。必要に応じてダブルネジまたはダブルナット掛けしていただく安全です。

5 ファンクションモード

デジカラーの機能を設定するための各パラメータ(ファンクション 以降 FUN)を設定してください。なお、設定用スイッチはゴムキャップの中にあります。

- 手順 1 本体横の【▲】キーを 2 秒以上押しとファンクションモードとなります。その際、使用開始直後は[F-01]と表示しますが、電源投入後 2 回目以降は前回選択された最後の FUN 番号を表示します。この時、選択された FUN 番号と設定されているデータを交互に表示します。
- 手順 2 **ファンクション番号の選択**
交互表示状態の時、パネルの【▲】キーを押すごとにファンクション番号がアップします。
なお、【▲】キーを押し続けると早送りで FUN 番号が変わります。
- 手順 3 **設定値の変更または確認**
変更または確認したいファンクション番号を表示させると FUN 番号と設定値が交互に表示されるので、設定値を確認します。
この状態で【D】キーを押すと、設定値変更モードに移行します。
- 手順 4 **設定値の変更**
手順 3 の操作により設定可能桁が点滅表示となり、【D】キーを押すごとに設定桁は右に桁移動します。設定桁が最下位まで移動した後、更に【D】キーを押すと最上位桁に戻ります。
- 手順 5 **データの設定および変更**
点滅している桁に対して【▲】キーを押すと設定値がアップします。また「-」データが設定可能なデータのみ「-」が表示されます。
- 手順 6 **設定値変更確定と確認**
データの設定が完了した時点で表示部横の【リセット】スイッチを押すと登録データが確定し、変更された設定値とファンクション番号を相互に表示します。この状態で更に【リセット】スイッチを押すと通常モードに戻ります。



注意

- ◆内部に異物などが入ると誤動作する恐れがありますので、設定が終わりましたらゴムキャップを必ず戻してください。

6 ファンクション設定初期値

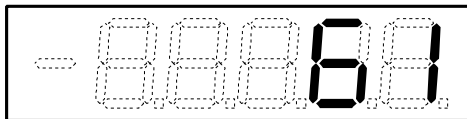
No	項目	桁数					
		5	4	3	2	1	
基本設定	01	基本パラメータ				6	0
	02	小数点位置設定				2	2
	03	リード値設定	0	0	2	0	0
	04	エンコーダ 1 回転の パルス数設定	0	0	1	5	0
	05	カウントモード設定				0	0
	06	カウント極性切替					0
	07	角度カウントモード切替					0
	08	プリセット値設定	0	0	0	0	0
未使用	09 ～ 26	使用しないでください					

参考

◆SLR-600 タイプの初期値はファンクション 01 : 61、ファンクション 4 : 600 となります。

7 設定内容

ファンクション 1 : 基本パラメータ設定



(初期設定値)

基本パラメータ設定は初期設定を簡略化するため、ファンクションデータを予め決められた初期値に設定する機能です。

	FUN01 設定値	FUN02 小数点位置	FUN03 リード値	FUN04 パルス数	FUN05 カウントモード	適応機種
測 長	60	22	2.00	150	00	SLR-150(出荷初期値)
	61	22	2.00	600	00	SLR-600(出荷初期値)
角 度	11	自動設定	360.00	2160	10	10分読み
	12	自動設定	360.00	2160	11	5分読み
	13	自動設定	360.00	5400	12	1分読み
	15	自動設定	360	100	13	1°読み
	16	自動設定	360.0	1000	14	0.1°読み
	17	自動設定	360.00	9000	15	0.01°読み

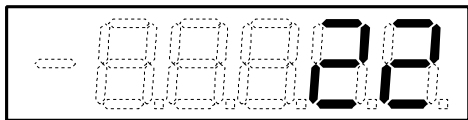
※ SLR-600タイプの初期設定値は「61」です。

※ 初期化を行った場合は「00」となります。

※ 基本パラメータ以外を設定する場合、カウントモードを優先して設定した後、パルス数やリード値を上書き設定してください。

- 角度モードを選択した場合、ファンクション 04 の値を再設定する必要があります。
- 角度モードの小数点位置は自動設定時となり、ファンクション 02 の表示はスキップします。

ファンクション 2 : 小数点位置



(初期設定値)

- 1桁目:未使用 ※設定値は変更しないでください。
- 2桁目:小数点位置を設定します。

0 : 小数点以下表示なし

1 : 小数点以下1桁を表示 (□□□□. □)

2 : 小数点以下2桁を表示 (□□□. □□)

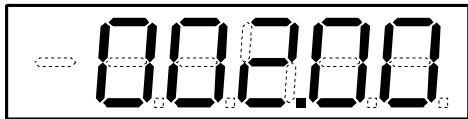
3 : 小数点以下3桁を表示 (□□. □□□)

4 : 小数点以下4桁を表示 (□. □□□□)

5 : 小数点以下5桁を表示 (. □□□□□)

※ 角度モード選択時の小数点位置は各カウンタモードに対応した小数点を自動的に表示します。

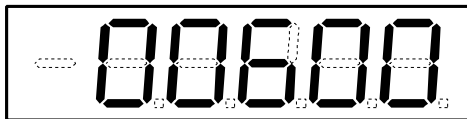
ファンクション 3 : リード値設定



(初期設定値)

- 機械に取り付けたエンコーダが1回転したときに機械が移動する距離を設定します。
- 小数点位置はファンクション 02 の2桁目の設定値になります。
- 角度モードの場合もファンクション 01 の基本設定にない場合、任意の値を設定します。

ファンクション 4 : エンコーダのパルス数設定

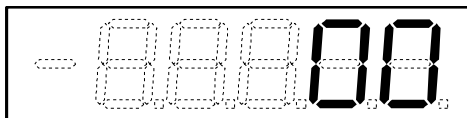


(初期設定値)

- 機械に取り付けたエンコーダが 1 回転したときに発生するパルス数を設定します。
- SLR-600 の場合、初期設定値は「600」となります。

※ ファンクション 01 にて角度モードを選択した場合、SLR-150 タイプは 150、SLR-600 タイプは 600 を再設定してください。

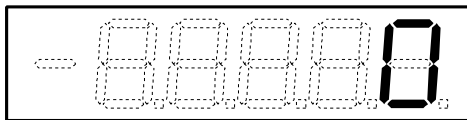
ファンクション 5 : カウントモード設定



(初期設定値)

設定値	カウントモード	表示内容
00	10 進	±99999
01	2 進	±99995
10	10 分	±359.50
11	5 分	±359.55
12	1 分	±359.59
13	1°	±359
14	0.1°	±359.9
15	0.01°	±359.99

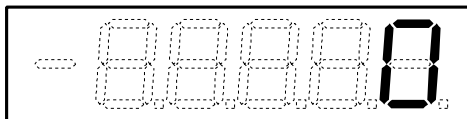
ファンクション 6 : カウント極性切替



(初期設定値)

- カウント極性を変更したい場合、「0」または「1」のいずれかに変更してください。

ファンクション 7 : 角度モードカウント切替



(初期設定値)

- 0 : 「0」を境に±カウントを行います。
($-360^\circ \sim -2^\circ$ 、 -1° 、 0° 、 1° 、 $2^\circ \sim 360^\circ$)
- 1 : 「0 $\sim 360^\circ$ 」の範囲で示し、「-」は表示されません。
(1分モード時 359.58 \Leftrightarrow 359.59 \Leftrightarrow 0.00 \Leftrightarrow 0.01 \Leftrightarrow 0.02 のように「-」を表示しません。)

ファンクション 8 : プリセット値設定



(初期設定値)

- ファンクション 08 に任意の値を設定した後、通常モードに戻ると現在値がこの値に修正されます。
- 「リセット」スイッチを押すと、現在値がこの値に修正されます。

ファンクション 9~26 : 未使用

※ 設定は変更しないでください。

8 主な操作説明

8.1 パラメータ設定について

使用する状況に合わせて、パラメータを設定してください。

【設定例 1】 0.01 読み リード 4mm

＜操作＞ ファンクション 03 の値を「4.00」に変更します。

【設定例 2】 0.1 読み リード 5mm

＜操作＞ 1. ファンクション 02 の値を「11」に変更します。
2. ファンクション 03 の値を「5.0」に変更します。



参考

◆カウント極性を逆にしたい場合は、ファンクション 06 に「1」を設定してください。

8.2 現在値修正(リセット・プリセット)について

【リセットの場合】

＜手順＞ 表示部の「リセット」スイッチを押すと現在値が 0 リセットされます。

【固定値プリセットの場合】

＜手順 1＞ あらかじめ、ファンクション 08 に現在値を修正したい値に設定します。

＜手順 2＞ 表示部横の「リセット」スイッチを押すと、ファンクション 08 に設定されている値に設定値が修正されます。

※ プリセット機能を使用した場合、0 リセットはできません。

8.3 現在値修正 (任意プリセット)について

- <手順 1> 「D」キーを2秒以上押すと現在値修正モードとなり、6桁目のLEDが点滅します。(ただし6桁目は-表示)
- <手順 2> 「D」キーから手を放し、再度、「D」キーを押すことにより点滅が右にシフトします。そして入力したい桁を点滅させます。
点滅の順番は6→5→4→3→2→1→6・・・と右にシフトします。
- <手順 3> 「▲」キーを押して任意の値をセットします。
- <手順 4> 必要に応じて手順2～3を繰り返します。
- <手順 5> 設定が終了したら、「リセット」スイッチを押すと値が確定します。

設定例 : 現在値を「-150.00」にしたい場合

- 1 : 「D」スイッチを2秒以上押すと、6桁目のLEDが点滅します。
- 2 : 「▲」スイッチを1回押すと、-表示に変わります。
- 3 : 「D」スイッチを1回押すと、5桁目のLEDが点滅します。
- 4 : 「▲」スイッチを1回押すと、表示が「1」に変わります。
- 5 : 「D」スイッチを1回押すと、4桁目のLEDが点滅します。
- 6 : 「▲」スイッチを5回押すと、表示が「5」に変わります。
- 7 : 「リセット」スイッチを押すと、表示が「-150.00」と変わり使用状態に戻ります。

8.4 パラメータの初期化について

各パラメータを出荷時の状態に戻します。

なお、初期化を行った場合、設定値のすべてが消去されますので、十分ご注意ください。

- <手順 1> 本体の電源を切ります。
- <手順 2> 「D」キーを押したまま電源を入れます。
約1秒後表示が「0.0」となり初期化が完了します。
- <手順 3> 本書を参考に、パラメータを再設定します。

9 設定の控え

セットアップ後にご使用中の設定をご記入ください。

	No	項目	初期設定値	設定値			
基本設定	01	基本パラメータ設定	※ 00				
	02	小数点位置設定	※ 01				
	03	リード値設定	※ 0200.0				
	04	エンコーダ 1 回転の パルス数設定	※ 01000				
	05	カウントモード設定	00				
	06	カウント極性切替	0				
	07	角度モードカウント切替	0				
	08	プリセット値設定	0000.0				
未使用	09	変更しないでください	00001				
	10		0				
	11		00				
	12		4				
	13		0000.0				
	14		1000.0				
	15		0000.1				
	16		0000.1				
	17		0				
	18		00				
	19		0				
	20		0000.0				
	21		00.0				
	22		910				
	23		0000.0				
	24		1000.0				
	25		1				
	26		1124				

※ 上記設定値については初期化を行った場合の値です。出荷時の初期値(ファンクション 01~04)については、設定内容の項目を参照してください。

注意

- ◆強電（インバータなど）との配線と信号線は、極力離して（50cm 以上）配線してください。
- ◆インバータを利用した場合のモータ電力線には 4 芯ケーブルを使用し、その内 1 本をアース線としてインバータのアース端子に接続しノイズを低減させてください。
- ◆軸受け部にはラジアル荷重およびスラスト荷重が加わらないようにしてください。
破損の原因となります。
- ◆本体を取り付ける際のネジ止めは、締め付けトルク 40kgf・cm(392N・cm) 以下としてください。
本体の取付部が破損することがあります。
- ◆本体を分解したり、お取り扱い上必要のないカバー類を開けたいしないでください。
また、水や異物が内部に入らないようにしてください。
- ◆清掃する際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れが気になる場合は、中性洗剤を水で薄めて柔らかい布に浸し、よく絞ってから拭いてください。アルコール、ベンジン、シンナーなどを使うと、外装が変色したりします。

MUTOH

202205

武藤工業株式会社 <https://www.mutoh.co.jp/digi/>

東京都世田谷区池尻 3-1-3 〒154-8560 TEL(03)6758-7000(大代)